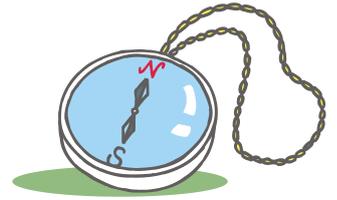


# 羅 針 盤

第 **33** 号

令和8年3月2日（月）



## ◆ 「人生は出会い」

「人生は出会い」という言葉は、「人生」というものが人との出会いによって形づくられていくということを意味しています。「出会い」は、人生の岐路において、新しい考え方であったり、多種多様な生き方があることを与えたり、自分の目の前に立ち塞がっている困難を乗り越えるきっかけにもなったりするものです。また、人との出会いだけでなく、自然や芸術、あるいは、本なども、あらゆるものとの出会いが人生を豊かにすることも言われていることに間違いはありません。日常生活を通じて新たなる友人との出会いといったことが学校生活を豊かにしてくれるものとなっているはずです。様々な「出会い」というものが、人生に多大なる影響を及ぼし、その「出会い」というものは、一時的なものもあれば、一生涯続くような関係を築きあげていくものでもあり、個人的な成長に繋がっていたり、自己理解が深まるきっかけとなるものもあるはずです。また、人との出会いが、新しい考え方や生き方を知るきっかけとなって、人生という歯車が大きく動き出すことがあるのも事実です。「出会い」を、必然と捉えるのか、ご縁があってと捉えるのか、出会ったタイミングであったり、思わぬきっかけが新たな関係性をつくり出して、その後の未来にも、思いもかけない形で影響していたんだと振り返るような出来事までもが待ち受けているかもしれません。そして、出会いやご縁といったことに感謝する気持ちを持ち合わせていることで、世界の見方までも変わることがあるかもしれないのです。人生を豊かにしてくれるたくさんの出会いを皆さんには是非とも持ってほしいと思います。出会いを大切にしながら、他者との関係性を丁寧に育むことで、更にご縁が深まり、より一層信頼関係が構築されていくはずで、人としての大きな成長をなしていくためにも、「出会い」の一つひとつを大事にしてほしいと思います。

## ◆ 「3月9日」

一週間後は、3月9日。本校では、「卒業生を送る会」が行われる予定となっています。「3月9日」と言えば、ロックバンドのレミオロメンの代表曲である「3月9日」を思い浮かべる人もいないでしょうか。3月といえば、新たなる旅立ちを感じる時期でもあります。この時期にぴったりの楽曲がこの「3月9日」という楽曲であるともいえますが、多くの人たちから卒業ソングの定番として、幅広い層から支持を得てはいるのですが、実はこの曲はレミオロメンがもともとのバンドメンバーの友人の結婚を祝うための「門出を祝う歌」として作られました。友人が「サンキューの日（3月9日）に結婚する」と言ったことに感動して、藤巻亮太さんが作詞・作曲し、その言葉を引用して曲のタイトルを「3月9日」としたそうです。「ありがとう」という感謝の思いが散りばめられたこの曲は、歌詞の中にある「桜のつぼみは春へと続きます」というフレーズが、季節の移り変わりを感じながらも、新たに春を迎えることを祝福することを多くの人に投げかけている言葉ではないかと思います。春の訪れとともに、出会いや別れ、そして、新たな世界の入り口に立ってスタートを切ることへの感謝の表れではないかと思わずにはられません。

